

# 港南桜道再整備計画 意見交換会説明資料

## 第2回

- P.1 ・ 第2回意見交換会の開催にあたって
- P.2 ・ 現況図（平面図、断面図）
- P.3 ・ 基本計画図 1案
- P.4 ・ 基本計画図 2案
- P.5 ・ 基本計画図 3案
- P.6 ・ 基本計画図 4案
- P.7 ・ 桜樹種一覧表

平成25年2月28日

横浜市 港南土木事務所

## 第2回意見交換会の開催にあたって

### 意見交換会の目的

桜道は市内有数の桜の名所であり、昭和初期から長い歴史があります。また、例年「港南の桜まつり」が開催されるなど地域からも愛されています。一方で以下のような課題もあります。

- ① 桜の高齢化による倒木の危険性
- ② 根上がりによる舗装破壊
- ③ 歩行者や自動車への通行障害

これら課題を解決するため、桜道再整備案の方向性について、住民のみなさまと行政が考え方を共有できるよう、意見交換会をもって相互理解を深め、より良い桜道再整備案をまとめることを目的とします。

### 第1回意見交換会での結論

今回は、「歩行者の安全性について」、「桜のある道づくりについて」、「車両の走行性について」の3点を論点に意見交換を実施し、以下のような結論が出ました。

- 重点整備区間の既存の桜を全て伐採、東側に約2メートルの歩道と西側に約1mの路肩を設置し、新たに桜を植栽する1-B案ケース3を基本とするが、車止めの代わりになるものや、健全な桜をできる限り残して欲しい、といった意見があった。
- 上記を踏まえ、西側の健全な桜を一部残す案も新たに作成し、次回の意見交換会で提示する。
- 次回の意見交換会を2月下旬～3月上旬に開催し、上記の2案について再度議論し、再整備の方向性を固める。

### 第2回意見交換会の論点について

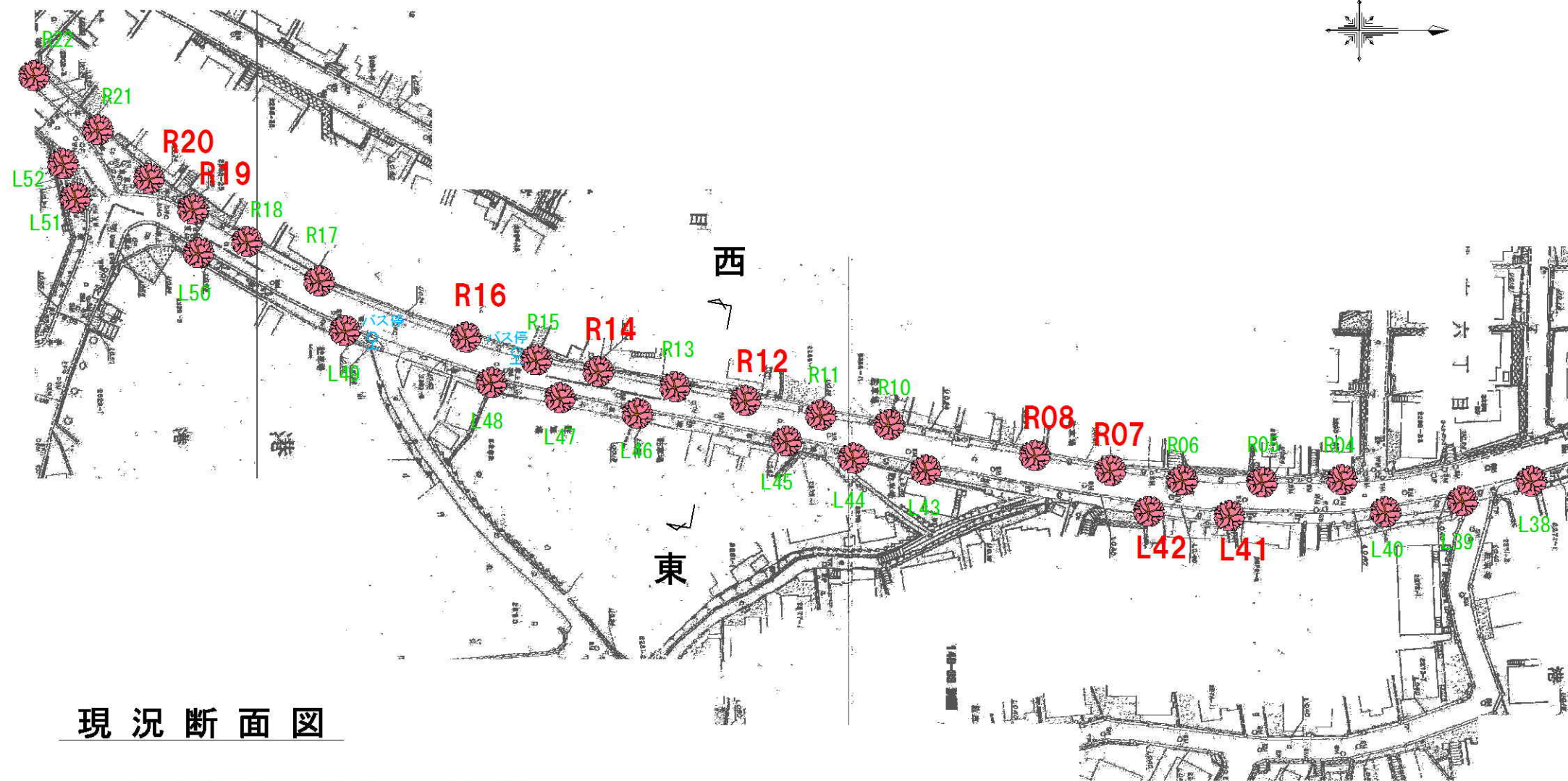
第1回意見交換会の結論を踏まえて、今回は以下の内容について着目し、意見交換を行い整備案の方向性を固めたいと思います。

- ① 西側路肩を1メートルとした際に、既存の西側の桜を極力残せるかどうか
- ② 歩行者の安全対策について
- ③ その他

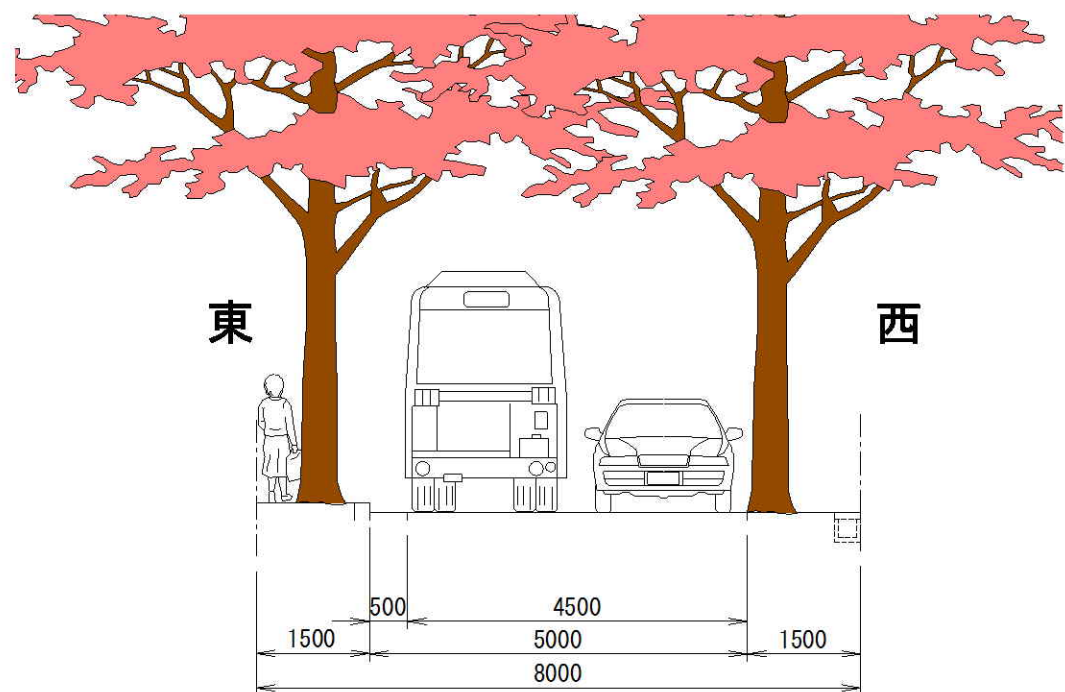
MEMO



# 現況平面図



# 現況断面図



# 現況写真



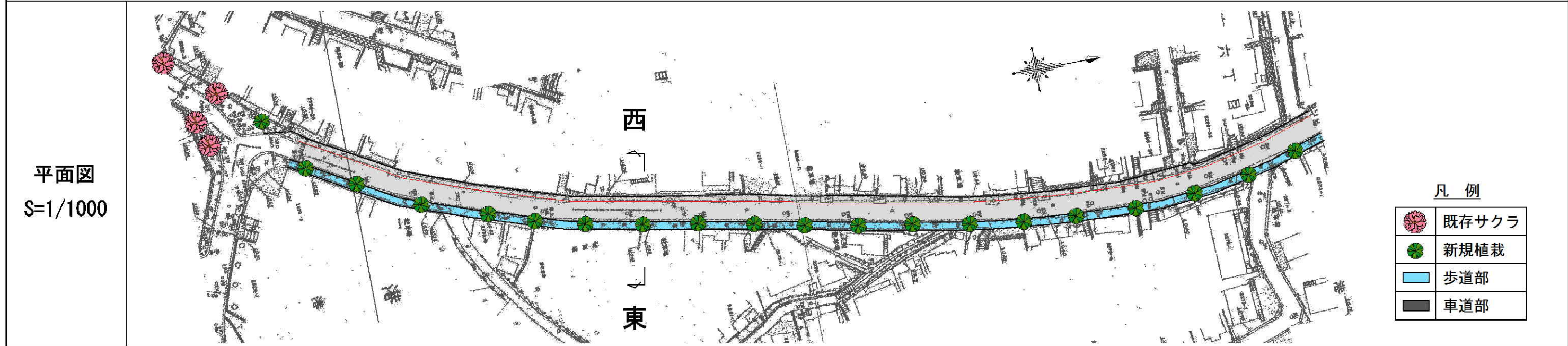
緑字 … 樹木診断の結果、A・B1と診断された樹木  
 赤字 … 樹木診断の結果、B2・Cと診断された樹木

- ※ A : 健全か健全に近い
- B1 : 注意すべき被害が見られる
- B2 : 著しい被害が見られる } 伐採対象
- C : 不健全

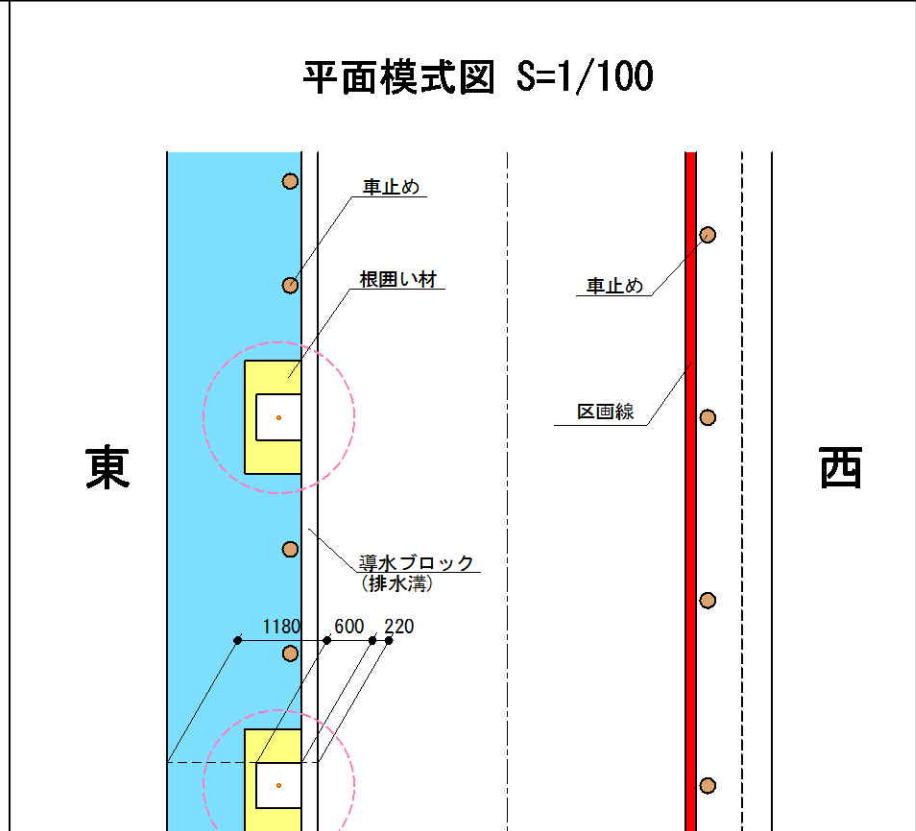
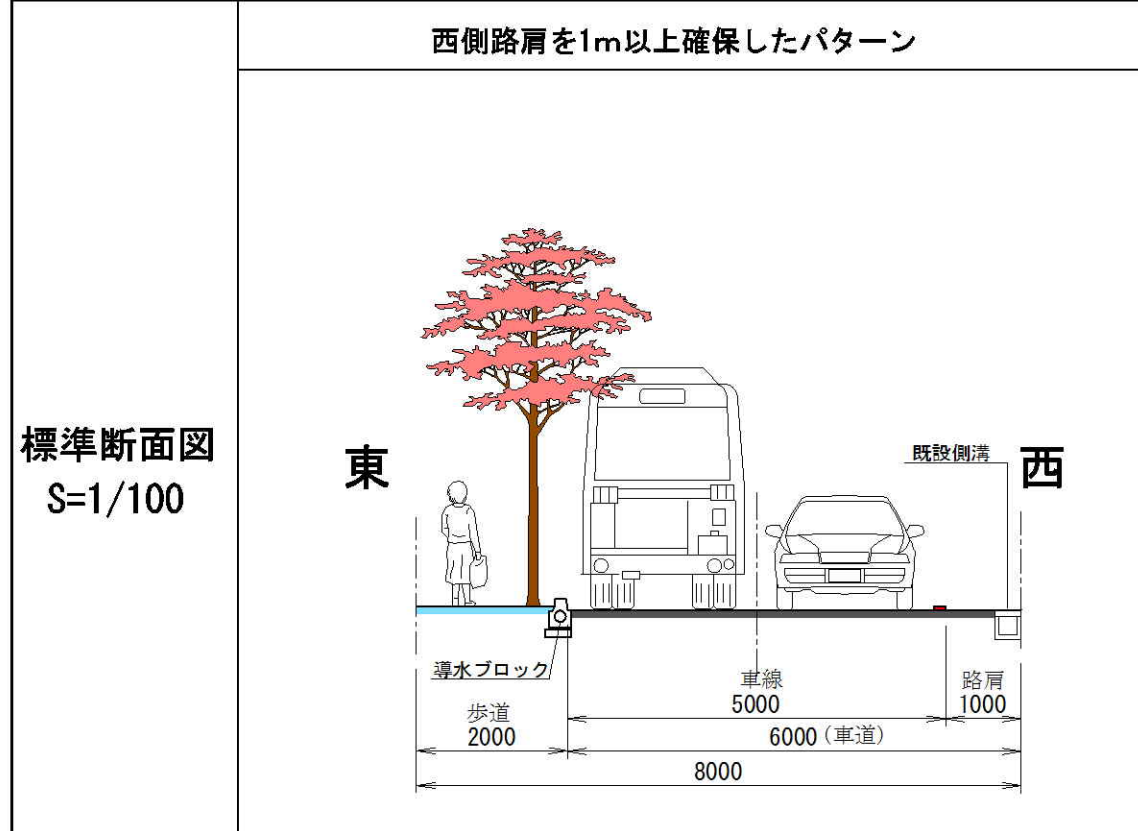


# 基本計画図 1案

～歩行者の通行性を優先して既存の桜は全て撤去し、東側の現況歩道を拡幅・再整備すると共に、新たに樹木を植栽します～



**整備概要** 東側歩道の幅員を2m以上に拡幅し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました (既存樹木は全て撤去の対象とします)



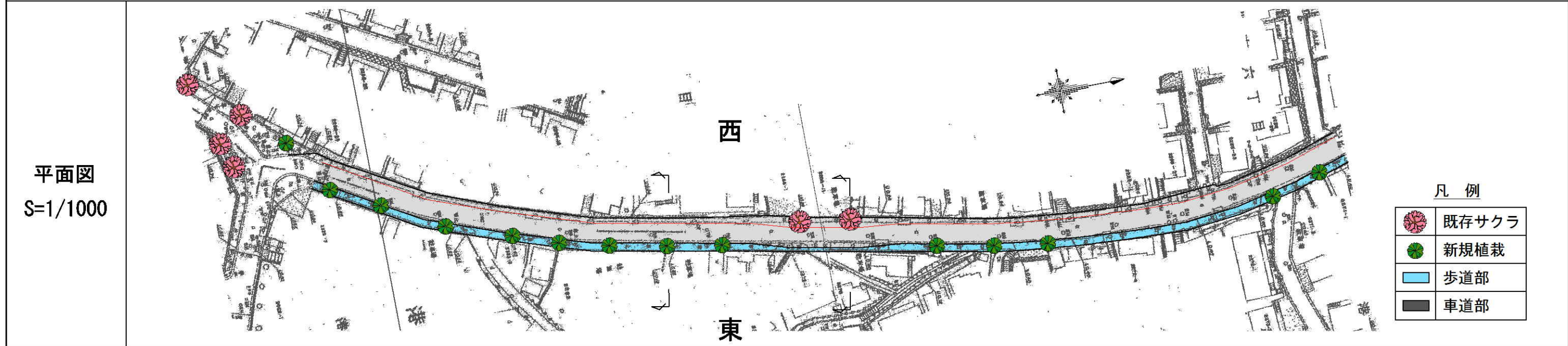
<b>特徴</b>	<b>メリット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況歩道が50cm程度拡幅され、樹木も新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・植栽が片側に集約されるので、車両の走行性が向上する。</li> <li>・西側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。</li> </ul>
	<b>デメリット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側宅地が車道に接する。</li> </ul>

<b>道路幅員</b>	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
	-	2.0m	6.0m	1.0m以上	-	5.0m
<b>評価</b>	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
	○	○	○	○	×	

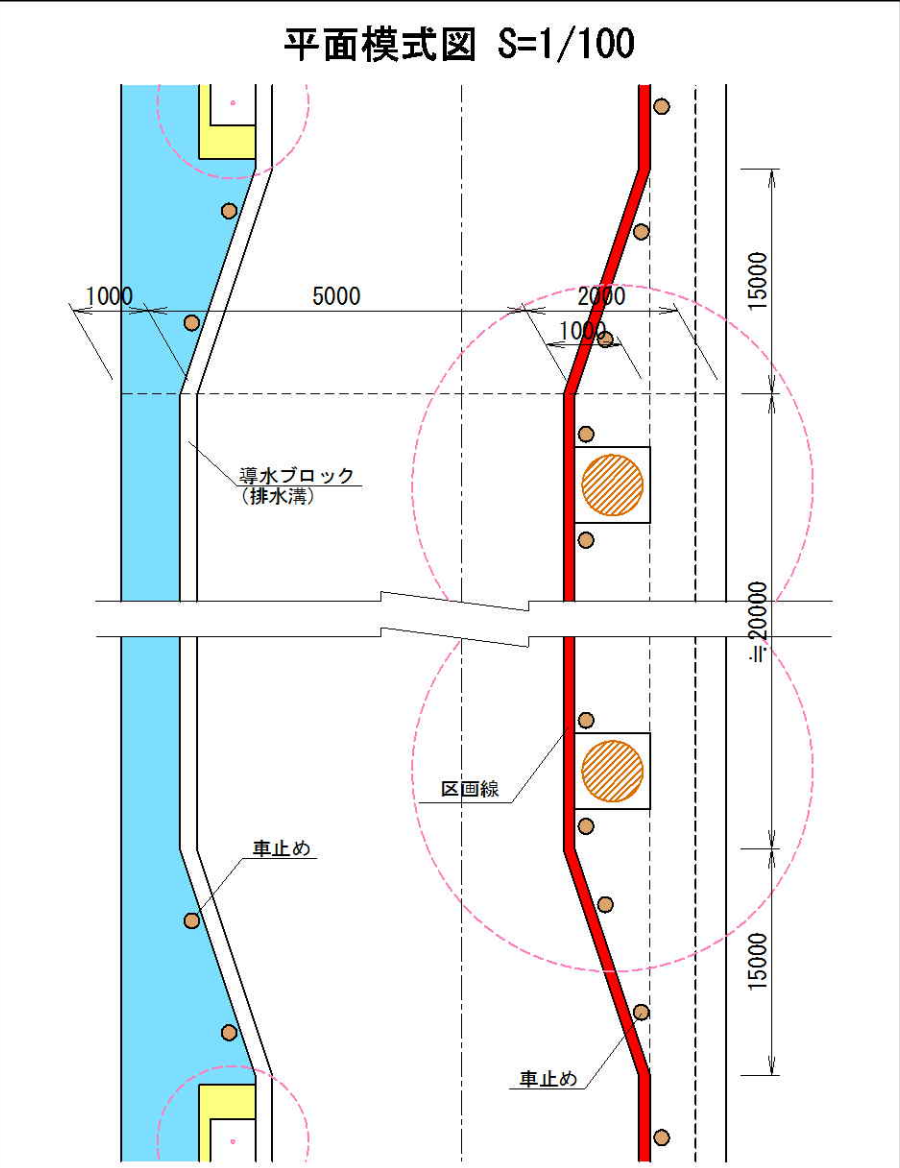
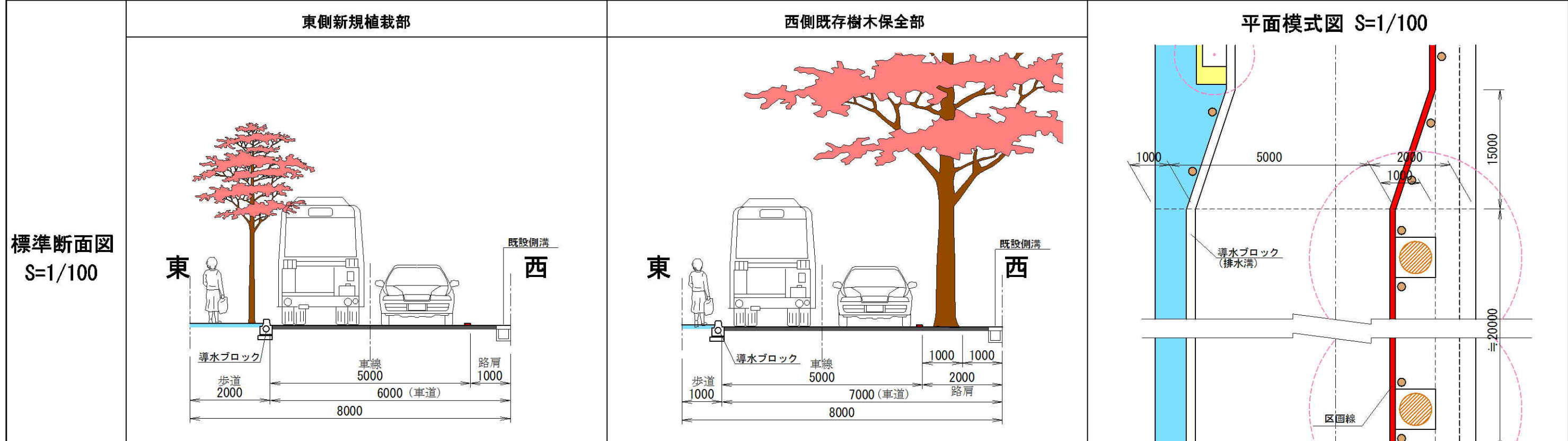


# 基本計画図 2案

～西側の既存桜を一部保全しつつ東側の既存桜を撤去し、現況歩道を拡幅・再整備すると共に、新たに樹木を植栽します～



**整備概要**  
 ・ 東側歩道の既存樹木は全て撤去し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました (西側の既存樹木は、生育健全な樹木から2本を選定し、保全します)

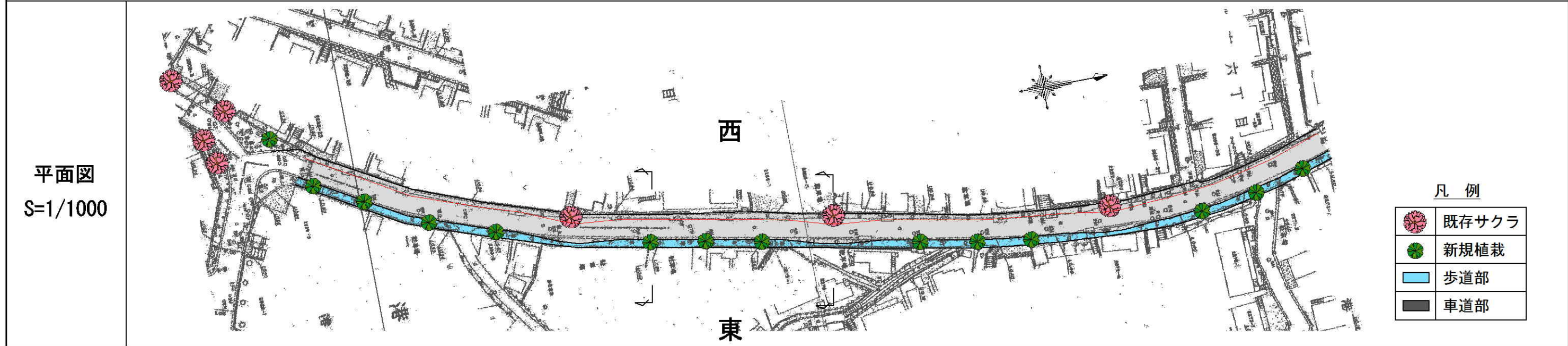


特徴	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現況歩道の樹木が新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・ 既存樹木の保全を考慮している。</li> <li>・ 西側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。</li> </ul>					同左
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西側宅地が車道に接する。</li> <li>・ 既存樹木を避けるために車道が蛇行すると共に、東側歩道の幅員が狭くなる。</li> <li>・ 既存樹木が路肩の中に存在する。</li> </ul>					同左
道路幅員	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	同左
	-	1.5~2.0m	6.0m	1.0m以上	-	5.0m	
評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	同左
	○	△	○	○	△		

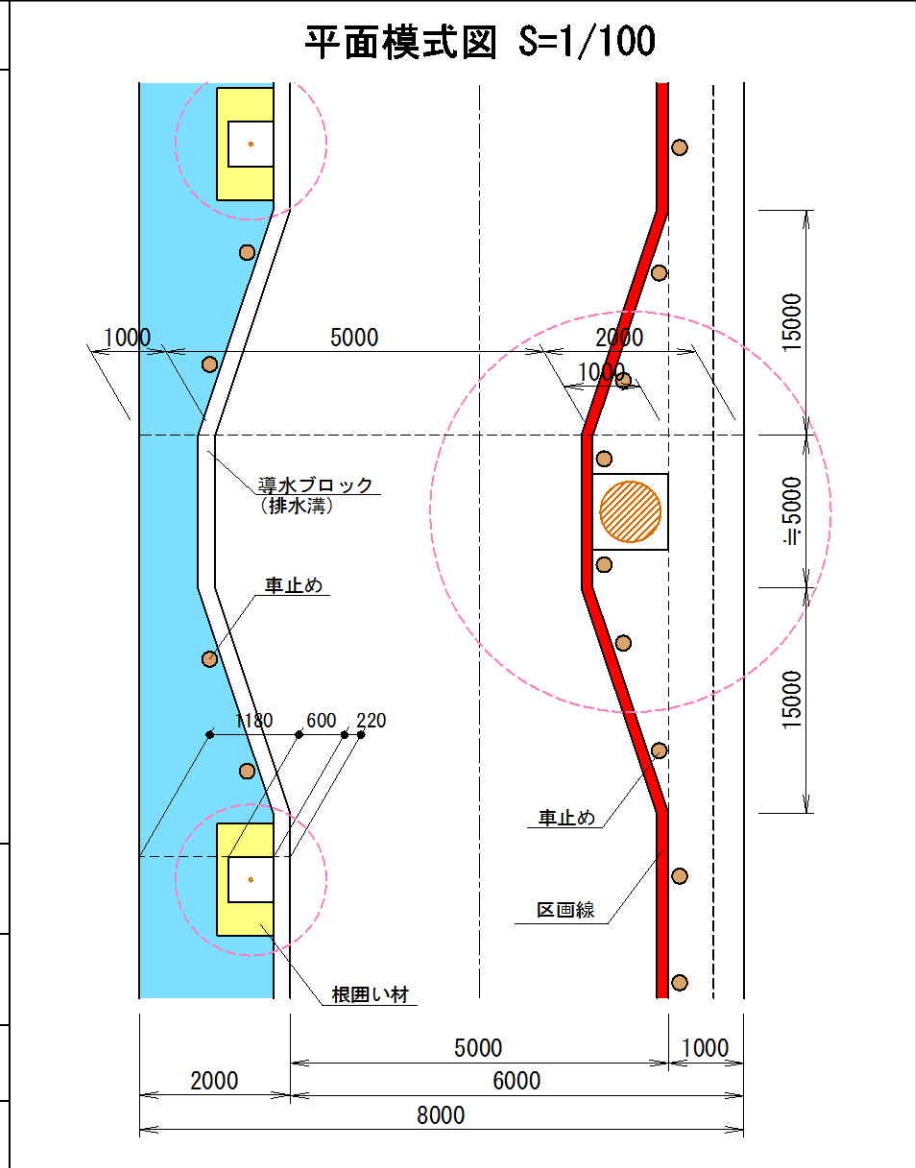
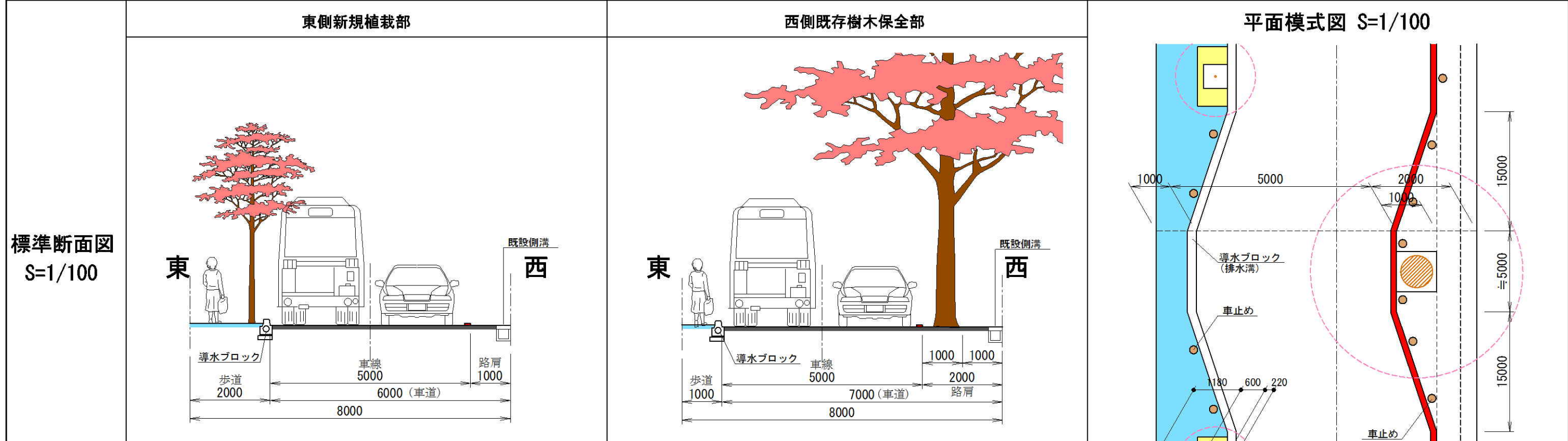


# 基本計画図 3案

～西側の既存桜を一部保全しつつ東側の既存桜を撤去し、現況歩道を拡幅・再整備すると共に、新たに樹木を植栽します～



**整備概要**  
 ・ 東側歩道の既存樹木は全て撤去し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました (西側の既存樹木は、生育健全な樹木から3本を選定し、保全します)



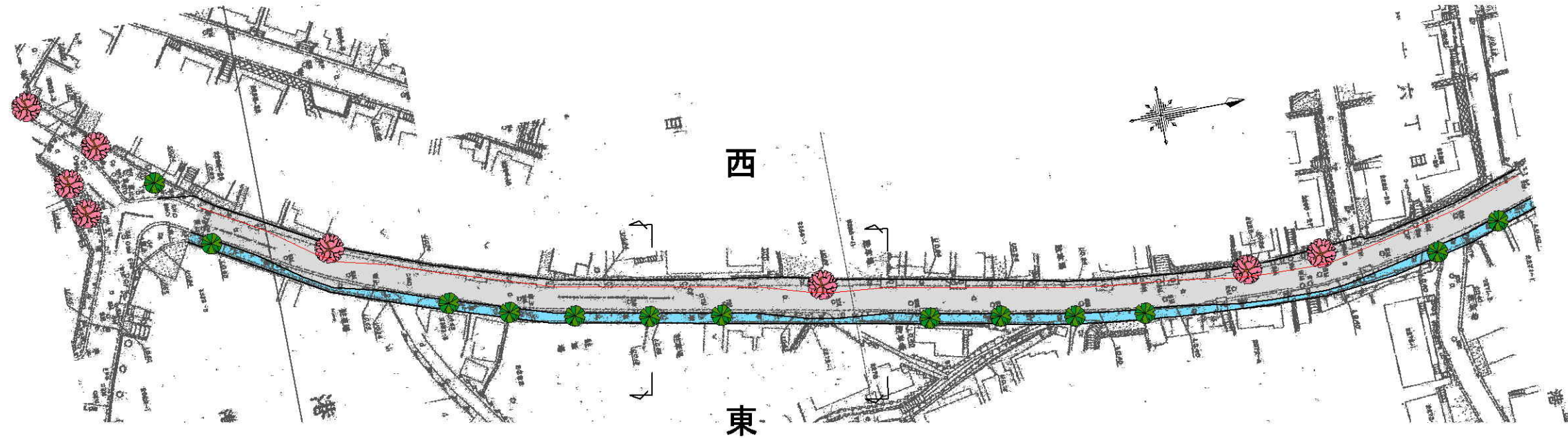
特徴	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現況歩道の樹木が新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。</li> <li>・ 既存樹木の保全を考慮している。</li> <li>・ 西側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。</li> </ul>					同左
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西側宅地が車道に接する。</li> <li>・ 既存樹木を避けるために車道が蛇行すると共に、東側歩道の幅員が狭くなる。</li> <li>・ 既存樹木が路肩の中に存在する。</li> </ul>					同左
道路幅員	西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅	同左
	-	1.5~2.0m	6.0m	1.0m以上	-	5.0m	
評価	歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価	同左
	○	△	○	○	○		



# 基本計画図 4案

～西側の既存桜を一部保全しつつ東側の既存桜を撤去し、現況歩道を拡幅・再整備すると共に、新たに樹木を植栽します～

平面図  
S=1/1000



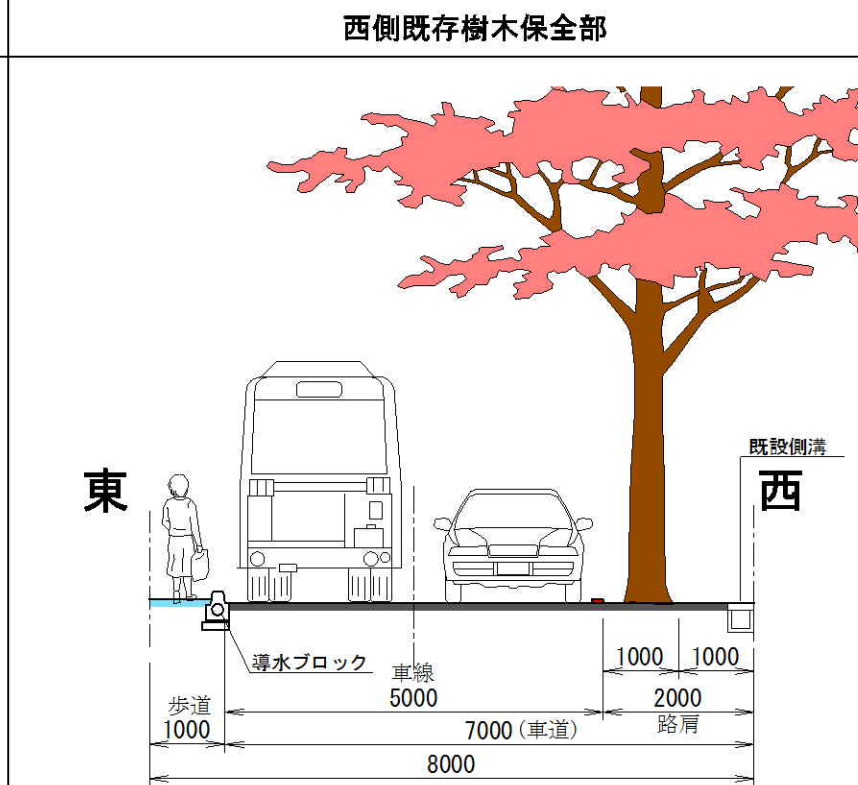
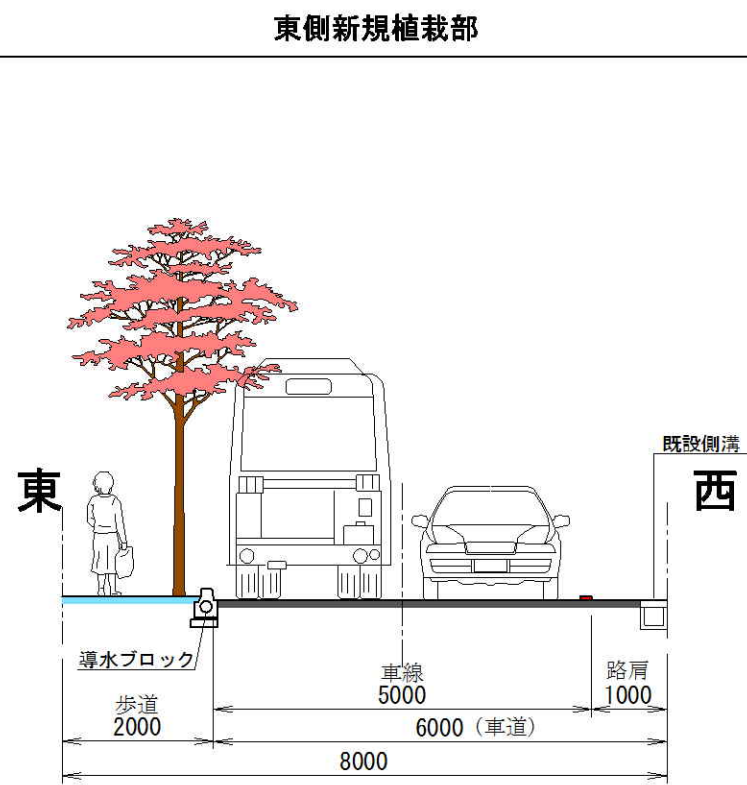
凡例

	既存サクラ
	新規植栽
	歩道部
	車道部

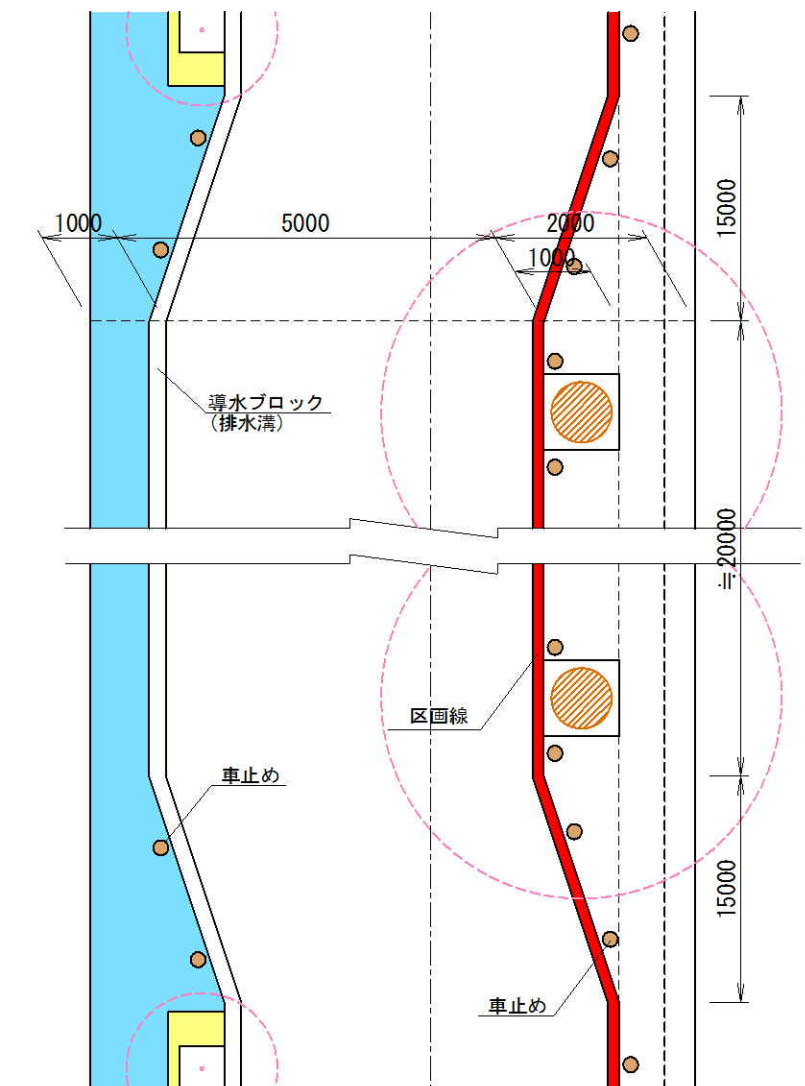
整備概要

・東側歩道の既存樹木は全て撤去し、既存樹木の代わりに新規の樹木を植栽することで、歩行者の通行性を向上させました  
(西側の既存樹木は、生育健全な樹木から4本を選定し、保全します)

標準断面図  
S=1/100



平面模式図 S=1/100



特徴  
メリット  
デメリット

- ・現況歩道の樹木が新規となるため、歩道の有効幅員が広がる。
- ・既存樹木の保全を考慮している。
- ・西側路肩が広く確保されるので、宅地への出入りが安心できる。
- ・西側宅地が車道に接する。
- ・既存樹木を避けるために車道が蛇行すると共に、東側歩道の幅員が狭くなる。
- ・既存樹木が路肩の中に存在する。

同左

同左

道路幅員

西側歩道幅員	東側歩道幅員	車道幅員	西側路肩幅	東側路肩幅	車線幅
-	1.5~2.0m	6.0m	1.0m以上	-	5.0m

同左

評価

歩行者通行性	車両通行性	西側宅地出入	東側宅地出入	既存樹木保全	総合評価
○	△	○	○	○	同左

同左



# 桜樹種一覽表

名称	ヨウコウ 陽光	ヤマザクラ 山桜	アマノガワ 天の川	ウミネコ 海猫	ソメイヨシノ 染井吉野
写真					
基本群	カンヒザクラ群	ヤマザクラ群	サトザクラ群	マメザクラ群	エドヒガン群
開花時期	3月末	4月上旬～中旬	4月中旬～下旬	4月中旬	3月末～4月上旬
樹形	ある程度大きくなる。ヤマザクラ樹形。枝が斜め上向きに伸び、下枝を切除しやすい。	樹冠が大きく幹も太くなる。枝が斜め上向きに伸び、下枝を切除しやすい。	枝は垂直に伸びる。大木にならない。細く、ホウキ状樹形	枝は斜め上に伸び横に広がらない。大木にならない。細く、ホウキ状樹形	樹冠が大きく横に広がり、幹も太くなる。生長後は枝が水平から下向きになる。
花の色	濃く明るいピンク	白～薄いピンク（個体差あり）	薄いピンク	純白色	薄いピンク
流通性	有り	有り	有り	有り	有り
その他	天城吉野（アマギヨシノ）と寒緋桜（カンヒザクラ）の交配種で、近年生み出された品種。紅色の大輪一重。カンヒザクラほどではないが色はかなり濃く、可愛らしいピンク。青空によく映える。	ヤマザクラは、我が国の桜の中で最も代表的な種類で、古くから詩や歌に詠まれ親しまれてきた。主に本州中部以南に自生。花は白色か淡紅色で、香気の強いものもある。清楚で一つの花だけをみると、それほど目立たないが、開花と同時に出る若葉が紅・黄・緑といろいろあり、葉の色と花の色との調和が美しく最高の気品がある。	小高木でホウキ状の独特の樹形をもつ。花序全体が直立し、花はまっすぐ上を向く。	小高木でホウキ状の樹形を持つ。花序は5花弁一重の花2～3個で、花葉上又は横を向き垂れ下がらない。	江戸時代末期、エドヒガン系の桜とオオシマザクラの交配で生まれたと考えられる園芸品種。現代の観賞用のサクラの代表品種。樹木はほぼ全て接木で生産されるクローン。花は淡紅色の一重で新葉より先に密集して咲く。繁殖が容易で生長も早く花つきも非常によいので急速に全国各地に普及した。病害虫に弱く、寿命が短いとされる。
街路樹適性	推奨	推奨	推奨	推奨	不適